

WIN PARTNERS  
WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

# PARTNERS Report

ウイン・パートナーズ 株式会社

第8期第2四半期 株主通信 Vol.12

2020年4月1日～2020年9月30日



顧客病院の医療活動の継続を  
全力でサポート。  
アフターコロナを見据えた  
社内改革にも取り組んでいます。

代表取締役社長 秋沢英海

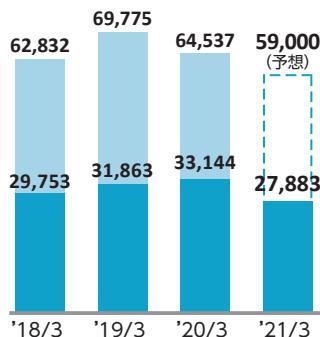
## 連結財務ハイライト

■ … 第2四半期(累計) ■ … 通期

### 売上高

(単位：百万円)

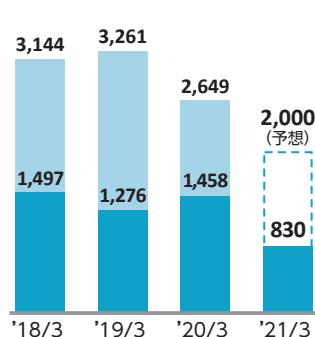
**27,883**百万円 (前年同期比△15.9%)



### 営業利益

(単位：百万円)

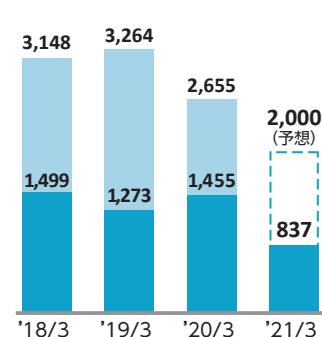
**830**百万円 (前年同期比△43.0%)



### 経常利益

(単位：百万円)

**837**百万円 (前年同期比△42.5%)



## Q-1 当上期の経営成績と通期見通しについてご解説ください。

新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)の拡大によって、国内の医療業界は大きな影響を受けました。さらに、昨年10月と今年4月に実施された医療機器の保険償還価格(国が定める価格)改定の影響もあり、当社グループにとって上期の事業環境は大変厳しいものとなりました。当上期の売上高は前年同期比15.9%減、営業利益は同43.0%減、経常利益は同42.5%減、親会社株主に帰属する四半期純利益は同45.3%減と、減収減益を余儀なくされました。

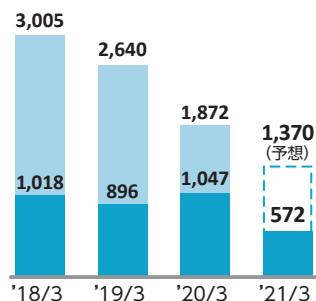
通期業績についても、残念ながら減収減益は避け

られない見通しです。冬場に向けて新型コロナの感染拡大がまだまだ予断を許さず、上期の落ち込みを取り返すほどの環境改善は想定しづらい状況です。厳しい状況が続くことを覚悟し、顧客病院が医療活動を継続できるよう全力でサポートしていくことを第一としつつ、重点施策である物流の効率化、心臓律動管理関連分野(CRS)の強化などに取り組んでいく考えです。また、上期にはなかなか取り組むことができなかったM&A案件や新規顧客の開拓などに向けても、可能な範囲で動き出したいと考えています。

### 親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位：百万円)

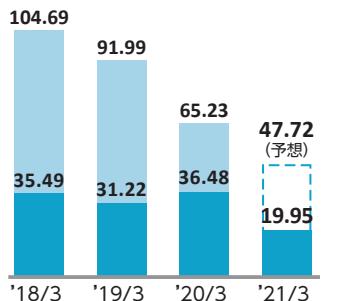
572百万円 (前年同期比△45.3%)



### 1株当たり当期純利益

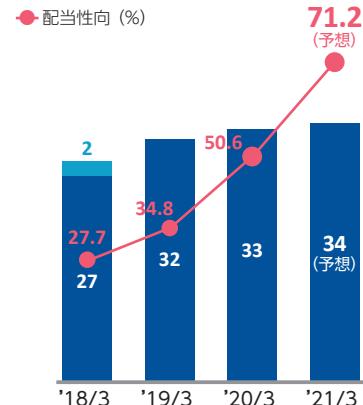
(単位：円)

19.95円 (前年同期比△45.3%)



### 1株当たり配当金

■ 普通配当 (円) ■ 記念配当 (円)  
● 配当性向 (%)



## Q-2 新型コロナによる経営への影響と対策についてお聞かせください。

当社グループの経営に新型コロナの影響が顕著に表れ始めたのは4月初旬ごろです。顧客病院において緊急性の低い手術が先延ばしされるようになったことに加え、外出や受診の自粛ムードが広がり、医療施設への来院数が減少し始めました。緊急事態宣言が発令されてからはさらに厳しい状況になり、5月には当社の主力分野である虚血性心疾患関連(PCI)や心臓律動管理関連(CRS)の症例数は、前年同月の7~8割程度の水準まで落ち込みました。感染拡大防止のため、営業活動などで顧客病院を訪問することも難しくなりました。

このような状況で当社グループが最も重視したのは、顧客病院への医療機器の安定供給を決して止めてはならない、ということです。当社グループの顧客には、

地域医療で中核的な役割を担っている大規模な医療機関も多く、こうした病院には一刻を争うような重症の患者さんが多くいらっしゃいます。社会経済活動が世界的に停滞する中、医療機器を安定的に確保して送り届けることには困難も伴いましたが、徹底した感染防止策を取るとともに、リスク分散のためにバックアップ用の別置倉庫を用意するなど様々な手を打つことによって、当社グループに課せられた使命を全うすることができたと考えています。

6月以降、症例数は回復傾向にあり、今後は様子を見ながらアフターコロナに向けた体制へと移行していく考えです。症例数が平時の水準に戻るにはもう少し時間がかかりそうですので、当面は将来に向けた物流改革や人材教育などに力を入れようと考えて

### 新型コロナに対する当社の対応

リスク分散	社員への対応	顧客への対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>別置倉庫の設置 (全国10か所)</li> <li>業務システムのクラウド化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時差出勤、テレワークの推進</li> <li>マスク・消毒液の配布、PCR検査の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関に対する後方支援継続</li> <li>医療機器の安定供給のための在庫確保</li> </ul>

います。このたび新たに東京・大田区に物流センターの用地を取得し、「RFID」\*を活用したより効率的な物流システムを構築しようと計画しています。人材教育については、若手社員と私が定期的に意見交換する機会をもうけるなど、中長期を見据えた取り組みにも力を入れる考えです。

当社グループが注力してきた「低侵襲治療」に対するニーズは中長期的には必ず拡大していくはずで

すし、多くの顧客病院から高い評価をいただいていた医療現場支援や、顧客病院の価値向上を支援する「バリューアップ支援」などは、アフターコロナにおいてますます、その重要性が認められると確信しています。また、厳しい事業環境の中でM&Aの機会も増えてくると考えており、こうしたチャンスを的確に捉えつつ、着実な成長を続けていく考えです。

\*RFID…無線通信を用いてICタグを取り付けた商品等を管理するシステム

## Q-3 SDGsについてのお考えをお聞かせください。

当社グループにとって、SDGsの達成を目指すことは、当社の事業の遂行そのものです。当社グループが経営の重要テーマとする「持続可能な医療体制の構築」「健康幸福寿命の伸長」などはいずれも、SDGs

で掲げられている目標の一つ「すべての人に健康と福祉を」と密接にリンクするものですし、「すべての人にベター・クオリティ・オブ・ライフを提供し、豊かな社会の実現に貢献します。」という企業理念は

### 当社グループが取り組む 重要テーマとSDGs\*

(※国連で採択された)  
持続可能な開発目標

**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS**

#### 重要テーマ

持続可能な医療体制の構築  
健康幸福寿命の伸長

人を育て、活かす社会に  
貢献する人材育成

#### 関連するSDGs



まさに、SDGsが誓う「誰一人取り残さない」精神と合致するものです。

ですから、まずは、事業活動に真摯に取り組み、顧客である医療機関と、その先にいらっしゃる多くの患者さんたちのためにベストを尽くすことこそが、

当社グループが果たすべき最も大切な役割であると考えています。その上で、環境負荷を抑えるための取り組みなど、その時々でSDGsを意識した行動をとっていくことも大切にまいります。

## Q-4 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

新型コロナにより影響を受けられた皆様に、心からお見舞い申し上げます。

新型コロナによって世界的な混乱が続く中、当上期の経営成績および通期の業績見通しはいずれも減収減益という厳しい内容となりました。しかしこのような事業環境の中でも黒字を確保できるだけの強い事業基盤を持っていることをご理解いただければ幸いです。こうした安定した事業基盤、そして強固な財務基盤に支えられていることを背景として、当期末の配当金につきましても当初の計画通り前期比1円増配の1株当たり34円とさせていただく見通しです。また、本年6月の株主総会にて当社取締役を対象とした譲渡制限付株式報酬制度の導入を付議し、ご承認いただきました。今後も企業価値の持続的な向上と、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目指してまいります。

株主の皆様には今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



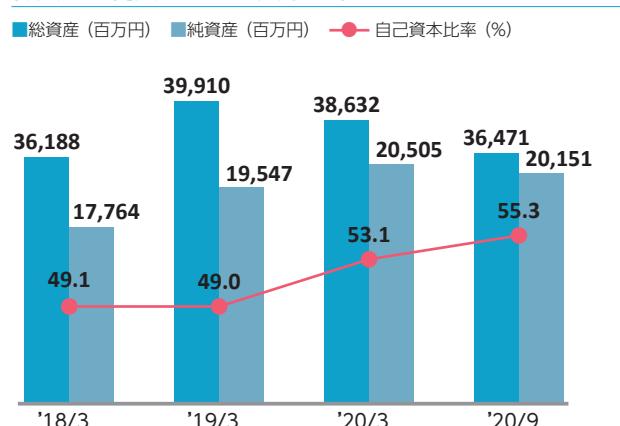
## 連結貸借対照表(要旨)

	前期末 2020年3月31日	当第2四半期末 2020年9月30日
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>35,499</b>	<b>32,214</b>
現金及び預金	17,495	15,862
受取手形及び売掛金	14,666	13,329
商品	2,571	2,368
その他	767	654
<b>固定資産</b>	<b>3,132</b>	<b>4,256</b>
有形固定資産	2,181	3,243
無形固定資産	114	151
投資その他の資産	836	861
<b>資産合計</b>	<b>38,632</b>	<b>36,471</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>17,098</b>	<b>15,243</b>
支払手形及び買掛金	15,899	14,342
その他	1,198	901
<b>固定負債</b>	<b>1,029</b>	<b>1,076</b>
<b>負債合計</b>	<b>18,127</b>	<b>16,319</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>20,523</b>	<b>20,148</b>
資本金	550	550
資本剰余金	2,272	2,272
利益剰余金	18,239	17,864
自己株式	△538	△538
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△17</b>	<b>2</b>
<b>純資産合計</b>	<b>20,505</b>	<b>20,151</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>38,632</b>	<b>36,471</b>

連結キャッシュ・  
フロー計算書(要旨)

	前第2四半期 2019年4月1日～ 2019年9月30日	当第2四半期 2020年4月1日～ 2020年9月30日
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>2,144</b>	<b>508</b>
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△16</b>	<b>△1,193</b>
<b>財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△918</b>	<b>△947</b>
<b>現金及び 現金同等物の期首残高</b>	<b>10,289</b>	<b>12,495</b>
<b>現金及び現金同等物の 四半期末残高</b>	<b>11,499</b>	<b>10,862</b>

## 総資産／純資産／自己資本比率



## Point

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益が837百万円、売上債権の減少が1,336百万円あった一方、仕入債務の減少が1,557百万円、法人税等の支払が367百万円あったこと等により508百万円の収入となりました。

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が1,125百万円あったこと等により1,193百万円の支出となりました。

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

前期の配当金の支払が947百万円あったことにより947百万円の支出となりました。

## 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

	前第2四半期 2019年4月1日～ 2019年9月30日	当第2四半期 2020年4月1日～ 2020年9月30日
売上高	33,144	27,883
売上原価	28,934	24,438
売上総利益	4,210	3,444
販売費及び一般管理費	2,751	2,613
営業利益	1,458	830
営業外損益	△2	6
経常利益	1,455	837
特別損益	82	—
税金等調整前四半期純利益	1,538	837
法人税等	491	264
四半期純利益	1,047	572
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,047	572

## Point

緊急性の低い待機的手術の延期や医療施設への来院患者数の減少、前期にあった大手グループ病院との取引消失および保険償還価格の改定による販売価格の下落等により減収減益となりました。

## 主要分類別売上概況

## ● 虚血性心疾患関連 (PCI)

新型コロナウイルス感染拡大による症例数の減少、大手グループ病院との取引消失および昨年10月、今年4月に実施された保険償還価格改定による販売価格の下落等の影響により、虚血性心疾患関連の売上高は7,514百万円となりました。

前年同期比

▲23.7%



取扱製品例：  
薬剤溶出型ステント  
(DES)

## ● 心臓律動管理関連 (CRS)

新型コロナウイルス感染拡大による症例数の減少、大手グループ病院との取引消失等により、心臓律動管理関連の売上高は7,834百万円となりました。

前年同期比

▲12.4%



取扱製品例：  
ペースメーカー

## 連結包括利益計算書

(要旨)

(単位：百万円)

	前第2四半期 2019年4月1日～ 2019年9月30日	当第2四半期 2020年4月1日～ 2020年9月30日
四半期純利益	1,047	572
その他の包括利益	1	20
四半期包括利益	1,048	593

4.3%

大型医療機器関連

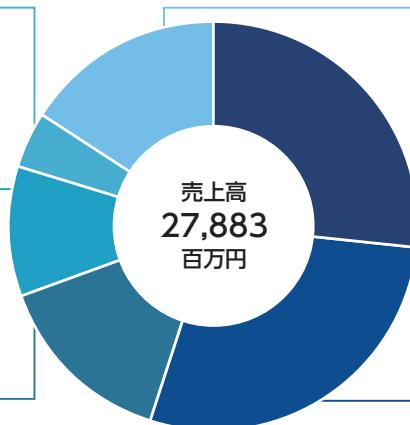
10.4%

末梢血管疾患関連 (PPI)  
及び脳外科関連

14.5%

心臓血管外科関連 (CVS)

分類別売上高構成比



15.8%

その他

26.9%

虚血性心疾患関連 (PCI)

28.1%

心臓律動管理関連 (CRS)

### ● 心臓血管外科関連 (CVS)

新型コロナウイルス感染拡大による症例数の減少、大手グループ病院との取引消失等により、心臓血管外科関連の売上高は4,029百万円となりました。



取扱製品例：  
TAVI用生体弁

前年同期比

▲13.7%

### ● 大型医療機器関連

新型コロナウイルス感染拡大による機器選定の遅れ等により、大型医療機器関連の売上高は1,194百万円となりました。



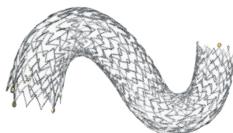
取扱製品例：  
移動式X線撮影装置

前年同期比

▲40.2%

### ● 末梢血管疾患関連 (PPI) 及び脳外科関連

閉塞性動脈硬化症症例数が減少した他、脳外科関連商品の販売数量が減少したこと等により、末梢血管疾患関連及び脳外科関連の売上高は2,897百万円となりました。



取扱製品例：  
末梢血管用ステント

前年同期比

▲6.9%

### ● その他

糖尿病のインスリンポンプや持続血糖測定器が増加しましたが、その他の売上高は4,413百万円となりました。



取扱製品例：  
インスリンポンプ

前年同期比

▲3.5%

## 特集 「専門性」を高め、他社との差別化をはかる

### CDR(Cardiac Device Representative:ペースメーカー/ICD関連情報担当者)認定取得を推進

医療機器の多様化・高度化が進む中、医療機器商社にも製品に対する高い理解や専門性が求められており、それを裏付けるものとしてCDR認定制度があります。CDRとは、植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器などについて、専門的な機器情報や医療技術情報を提供する人のことで、CDR認定制度は、こうした医療関連機器の適正かつ安全な使用のために専門的な知識と技術を有し、かつ高い倫理観を備えた専門家の育成を目指し、2008年に現在の「日本不整脈心電学会」と業界団体によって創設されました。

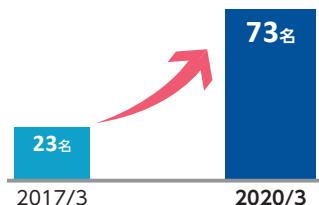


ペースメーカー

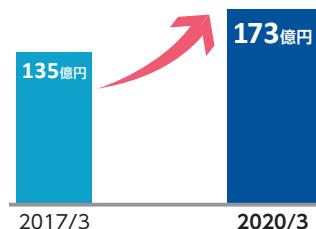
不整脈治療に使用されるこれらの植込み型デバイスは、新製品開発が活発で、短いサイクルで新しい機能を備えた機種が導入されることもあります。適切な治療には、こうした急速に変化する機能やメカニズムを理解することに加え、患者一人ひとりの症状に応じて複雑なプログラム設定や調整を行うことが必要です。医師や病院に勤務する検査技師、臨床工学技士のサポート役として、デバイス機能に精通し、適切なプログラミング操作や情報提供ができる人材へのニーズが高まっています。

当社では、今後より一層の高齢化とともに患者数の増加が予想される、心臓律動管理関連分野(CRS)の拡大に注力しており、そのためにもCDR資格を持つ営業員の育成が必要です。当社グループには2020年3月末で73名のCDR保有者がおり、ここ数年で全営業員のおよそ7%から20%に増加しています。2021年3月末に100名体制を目指し、社内の教育制度を整え、従業員に認定取得を推奨しています。

#### ● 当社CDR取得者数の推移



#### ● 当社CRS売上高の推移



## 会社概要

(2020年9月30日現在)

社名	ウイン・パートナーズ株式会社
英文社名	WIN-Partners Co., Ltd.
事業内容	医療機器販売等（連結ベース）
本社事務所	東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン21階
グループ会社	株式会社ウイン・インターナショナル テスコ株式会社 株式会社エムシーアイ
設立年月日	2013年4月1日
資本金	5億5千万円
従業員数	546名（連結）

## 役員

(2020年9月30日現在)

代表取締役社長	秋沢 英海
取締役	三田上 浩美
取締役	秋田 裕二
取締役	松本 啓二
社外取締役	間島 進吾
社外取締役	井出 健治郎
取締役	中田 陽一*
社外取締役	神田 安積*
社外取締役	菊地 康夫*

(注) ※は、監査等委員

## 株式の状況

(2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	100,000,000 株
発行済株式の総数	30,503,310 株
株主数	3,933 名

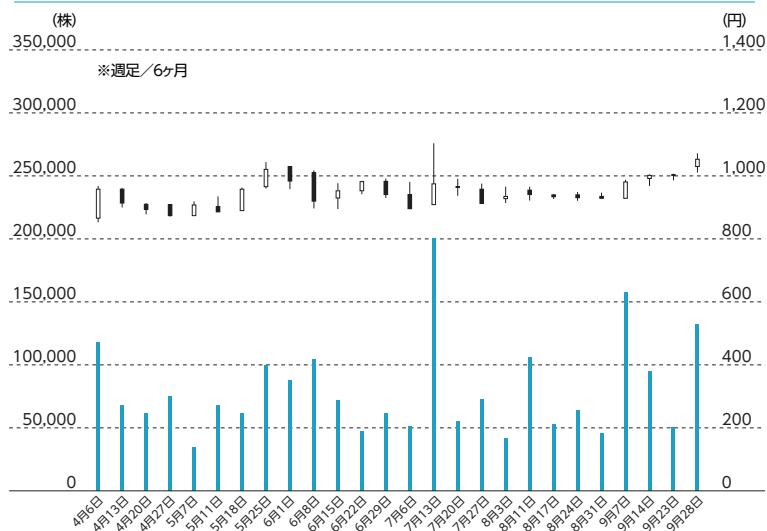
## 大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
有限会社オフィスA	5,500,000	19.16
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,982,700	6.91
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,954,630	6.81
株式会社キエマ企画	1,891,000	6.59
秋田裕二	1,714,290	5.97

(注) 持株比率は自己株式1,795,073株を控除して計算しております。

## 株価及び出来高の推移

(期間：2020年4月～9月)



## IRカレンダー



## 株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで	株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月	連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	期末配当金 3月31日		
公告方法	電子公告 <a href="http://www.win-partners.co.jp/koukoku/">http://www.win-partners.co.jp/koukoku/</a> やむを得ない事由により電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に 掲載いたします。		

※ 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。



WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

WIN PARTNERS

ウイン・パートナーズ 株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン21階  
TEL: 03-3548-0790

[www.win-partners.co.jp](http://www.win-partners.co.jp)



WINはQOL推進企業です